

## 学術誌に論文受理（元高校3年13組 上村勇輔君）

この春に卒業をした元高校3年の上村勇輔君が昨年11月に学術誌『歴史地震 第35号』に投稿をしていた論文が、査読（審査）をクリアして5月21日付で受理をされました。1月末に通知された査読結果は「大幅な書き直しの上で再査読」という厳しいものでしたが、本人は決して諦めることなく再調査や修正を繰り返し、また後輩の部員たちによるサポートにより、投稿から約6カ月をかけてようやく受理に至りました。印刷・製本された雑誌は7月末に発行され、地震学を研究している大学の図書館や国会図書館等に置かれます。

上村君は縁あって、高校1年でAL土曜講座（総合学習）で「地震・火山を学び伝える」を受講し、それをきっかけに高校1年の終わりに理科研究部に入部をしました。AL土曜講座の授業で「津波と地名」をテーマに探求を始め、理科研究部に入部をしてからは静岡県伊豆半島を対象地域とし、高校2年生～3年生の夏にかけて何度も現地（全ての公立図書館や1854安政東海地震津波等で被害の記録がある場所）を訪れ、地道に資料を集めていきました。そして、高校3年の夏から論文の原稿を書き始め、11月の投稿期限に間に合わせる事が出来ました。

1月末に通知をされた査読結果を振り返ると、論文が最終的に受理されたのは奇跡的です。苦境にも負けず自分自身への研究へのこだわりを持ち続け最後まで諦めなかったこと、そして貴重な時間を惜しむことなくサポートをしてくれた後輩の部員たちとの絆が、今回の成果に結びついたと考えています。

↓論文の表紙（著作権の関係で原稿は年度末に学会HPに掲載後に閲覧可能になります）

歴史地震  
第35号(2020)207-220頁  
受付日 2019/11/29, 受理日 2020/05/21

### [資料] 静岡県伊豆半島における地名と津波浸水域・被害との関連

栄東高等学校\* 上村 勇輔・荒井 賢一

Relationship between the Place Names and Tsunami Inundation Areas or Damage caused by Tsunamis in Izu Peninsula, Shizuoka Prefecture.

Yusuke UEMURA and Ken'ichi ARAI

Sakae-Higashi High School, 2-77, Suna-cho, Minuma-ku, Saitama City,  
Saitama, 337-0054 Japan